

改善計画書

施設名 竹野の森こども園 (担当者 田山 恭子 )

(作成年月日 平成29年 3月30日作成)

(施設として特に優れている点) やり続けて続けること	1	包括的な子育て支援を行えるよう、保育サービス及びプログラムの充実のほか、園施設の積極的な開放を今後も継続し、地域の多様な子育て家庭に対して積極的に施設機能の還元を図っていく。						
	2	食物アレルギー等、個別な対応が必要となる様々な保育の実施に際しても、外部関係機関等との連携による専門性の向上を図りながら、今後も積極的に取り組んで行く。						
	3	専門性を高める様々な研修会への参加機会を提供し続けることに加えて、独自の研究や研修プログラムを深めて、園の強みとなる職員の資質向上を図っていく。						
	4							
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐできること	1	園情報の発信	日常の保育の様子をパネル等を通して積極的に発信し、園生活の様々な場面を利用家庭と共有できるようにする。	1年	H29.4.1	H30.3.31	写真記録の拡充など、職員会議を通してプログラムを作成する。必要な機材は一部購入済み。	クラス担当保育士
	2	利用家庭とのコミュニケーションの促進	それぞれの立ち位置に捉われず、子育てに関する様々なことについて、幅広く共有できるようにする。	1年	H29.4.1	H30.3.31	指導計画の中にこれらを意識した項目を設け、一人ひとりの保育士が積極的に取り組んでいけるよう動機づける。	全保育士
	3	より良い環境整備	園内の環境整備を、時には利用児と共に、楽しみながら習慣づけられるようにする。	1年	H29.4.1	H30.3.31	職員会議を通じてプログラムを作成する。	全職員
	4	利用者の声を活かせる仕組みづくり	利用者との日々のコミュニケーションで得られる様々な意見や、提案、苦情等を有効に活かせる仕組みをつくる。	1年	H29.4.1	H30.3.31	保育の質を高めるプログラムとして実践的に機能するよう、職員会議を通じて形にしていく。	全職員
	5							
工夫すればできること	1	災害防犯対策	園の取り組みをより知って貰えるよう工夫すると共に、非常災害時の緊急対応について広く皆で共有し、定期的に確認しあえる環境を整える。	4か月	H29.4.1	H29.7.31	先ず園より、非常災害時に於ける行動プランを作成した上で、利用家庭の多様な意見を取り入れながら、共有を図っていく。	園長
	2							
	3							
	4							
	5							
予算化しないとできないこと	1	外壁の修繕(吹き付け)	保育環境整備の一環として実施する。	1年	H29.4.1	H30.3.31	設計事務所等と協議のうえ実施する。	園長
	2	防犯フェンスの設置	防犯機能の向上を図るため、防犯フェンス等の設置を行う。	2年	H29.4.1	H31.3.31	設計事務所等と協議のうえ実施する。	園長
	3							
	4							
	5							